

令和3年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
1	3	改新クラブ 鹿野良太	<p>1 来年度当初予算及び財政について</p> <p>(1) コロナ禍においても過去最大の当初予算を編成した想いと執行に向けた決意を一言で表現するとどのようになるか</p> <p>(2) 国では菅総理がDX実現に向けたデジタル化関連予算、ゼロカーボンを目指すグリーン関連予算を肝入りの政策として表明している。来年度当初予算の伊藤市長肝入りの政策は何か、伺う</p> <p>(3) 税収が14億円のマイナスの中で、過去最大規模でやりくりが大変だと思うが、予算編成の上で特に意を用いた点は何か、伺う</p> <p>(4) 災害、感染症対策のほか、本庁舎をはじめとする建設事業や今後の税収を踏まえ、今後10年の財政見通しをいつ頃までに示す考えなのか、伺う</p> <p>(5) 国の財政状況を踏まえ、今後の本市における自主財源の確保が重要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(6) 来年度デジタル庁も発足し、今後のシステムリプレースの中で新たな投資が生まれるが、市役所職員業務の再構築を含め、デジタル化の効果を財政的にどう見ているか、伺う</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) ワクチン接種体制構築の進捗と開始時期</p> <p>ア 人件費も含めた接種予算の見込額の進捗について伺う</p> <p>イ 国からのワクチン配布の時期、数量、割当ては明確になったか、伺う</p> <p>ウ 市内の輸送体制、方法をどのように整理しているのか、伺う</p> <p>エ 高齢者の3.8万人に対する接種開始時期と接種順を伺う</p> <p>オ 予防接種後に30分程度の経過観察が必要ということだが、集団接種はどこを想定しているか、接種後の待機場所も確保できるのか。また、個別接種(かかりつけ医)施設入居者(嘱託医)の場合の経過観察はどのように行うのか、伺う</p> <p>カ 接種履歴情報の管理は、誰がどのように行うのか、伺う</p> <p>(2) 差別、誹謗中傷への対応</p> <p>ア 市民が少しでも安心して生活できるように、差別や誹謗中傷を禁止する条例の考えはないか、伺う</p> <p>(3) 市民病院の対応</p> <p>ア 全国では医療崩壊を危惧する声があるが、大崎市民病院の稼働状況と財政状況について伺う。特に減収分が大きいと聞かすが、国からの補助金等はどの程度期待できるのか、伺う</p> <p>(4) 自死対策</p> <p>ア 1月までの本市の状況と前年度対比、性別、年代と新</p>	90分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>型コロナウイルス感染症との関連性を伺う。また、今後の対策を伺う</p> <p>(5) コロナ対策の財源</p> <p>ア 国の第1次、第2次補正予算における地方創生臨時交付金は、上限19.6億円だったが、今般の第3次補正予算による、地方創生臨時交付金の見込み額を伺う</p> <p>(6) コロナ対策事業執行状況</p> <p>ア 既にコロナ対策として予算化された事業の執行状況及び不用額は全体でどの程度になっているのか。特に昨年末に成立した緊急支援事業の申請、交付決定状況も併せて伺う</p> <p>(7) 商工会議所から要望書も出ている。事業者へのさらなる支援の必要性と、今後の経済対策について所見を伺う</p> <p>3 15周年事業について</p> <p>(1) 重点事業として、どのような事業を展開するのか、冠だけの事業ではいささか寂しいと感じるが、具体的な内容を伺う</p> <p>4 大崎市総合計画について</p> <p>(1) 第2次総合計画後期計画策定のポイントを伺う</p> <p>5 デジタルトランスフォーメーション(DX)について</p> <p>(1) デジタル政策</p> <p>ア 医社会情勢の変化による、デジタルの進展は免れない。施政方針には、総合計画にデジタルの視点を加えるという文言がない。総合計画でデジタル分野をしっかりと明確に位置づけ、DXを力強く推進する必要がある。国が進めるデジタル政策について、本市としてどのような期待と具体的な事業を想定しているか、所見を伺う</p> <p>(2) DX推進体制</p> <p>ア ICT推進室が新設されるが、なぜDX推進室ではないのか、伺う</p> <p>(3) 企業のDX</p> <p>ア 地域産業の生き残りのために、MSOなどとDX推進の話合いは行われているのか、伺う</p> <p>6 地方創生について</p> <p>(1) 市内企業のテレワークの普及状況と、本市の今後のテレワーク人口の見込みとサテライトオフィス誘導政策はどうか</p> <p>(2) 地消地産をベースとして、持続可能な生産体制の確立が重要である。市の自然環境や風土を生かし、デジタル化によるイノベーションを起こすような企業や、新たな最先端技術研究機関の誘致を目指すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 施政方針の「地方にいても都会と同じ仕事、同じ生活ができる環境」とは具体的にどのような環境なのか、そもそも都会と同じ生活を求めて移住を考慮するのか。大崎市ならではの生活ができる環境を整備すべきではないのか。具体的なハード、ソフト整備が必要な</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>か、伺う</p> <p>(4) 地域おこし協力隊の募集内容に偏りがないか。隊員は市で採用し、NPOなどに派遣することも可能とのことだが、広くデジタル人財や地域活性化に資する人財を募集し、制度を最大限に活用すべきではと考えるが、所見を伺う</p> <p>7 グリーン（ゼロカーボン）について</p> <p>(1) 脱炭素の流れを受けて本市で取り組むべきことは何か伺う</p> <p>(2) 市内製造業は自動車部品の依存が高い。EV普及に伴い自動車の部品数は大きく減少するが、市内製造業の発展及び持続可能性を伺う</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの普及を本市はどう進めるか、伺う</p> <p>8 学校教育について</p> <p>(1) GIGAスクール構想で児童生徒一台端末が整備されるが、教育のICT化に伴う学力向上、デジタルリテラシー向上、コミュニケーション力向上の新年度の具体的な取組を伺う</p> <p>(2) 学校教育環境整備事業の新年度の具体的な取組を伺う</p> <p>(3) 政策課内に小学校跡地利用調整担当を設置するが、具体的にどのような取組を行うのか、伺う</p> <p>9 観光について</p> <p>(1) コロナ後に備えて今できること、やらなければならないことは何か。宿泊業や関連観光産業はアフターコロナに向けて、今だからできる準備は何か。この取組が、コロナ後の観光産業のよしあしの差につながるのではないかと。事業者とどのような取組を行っているのか、伺う</p> <p>(2) 仙台空港 24 時間化となるようだが、インバウンドの輸送体制など、今こそ、コロナ後を見据えた積極的な海外へのプロモーションやオンライン交流が必要ではないかと、伺う</p> <p>(3) これまで種をまいたはずの台湾との交流は、現在どうなっているのか。オンライン交流なども含め継続できているのか、伺う</p> <p>10 空き家対策について</p> <p>(1) 新年度、空き家対策はどのような事業を展開するのか。実態調査や台帳作成が、その後どのように使われるか疑問に思っている区長さんもいる。そのことから、空き家対策の市民への周知が不足しているのではないかと。また、鳴子の景観を長年損ねている大きな空き家については、どのように対処する方針なのか、伺う</p> <p>11 児童保育事業について</p> <p>(1) 3件の施設が開所した場合、入所できる児童は何人規模になるのか。待機児童は解消されるのか</p> <p>(2) RPAの活用により、業務の効率化が図れるが、ロボットは指示したとおりにしか動かない。それらを検証</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
2	2	創新会 伊勢健一	<p>する仕組みは構築されているのか。個別の事情は勘案されないが、配慮はできるのか。ミスマッチによって、入所まで至らないケースもある。ミスマッチの対応を行っているのか、伺う</p> <p>12 地域包括ケアについて</p> <p>(1) 医師会に入らない医師との連携をどう見ているか、在宅ケアの充実を図るため、医療と介護のさらなる連携の具体的な方策は何か、伺う</p> <p>(2) 地域包括ケア病床を3分院で70床増となる。病床増と在宅ケアの充実と相反するようにも見えるが、関係性を改めて伺う</p> <p>13 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について</p> <p>(1) 宮城県後期高齢者医療広域連合の委託新事業</p> <p>ア 医療データ等の分析が大変重要になる。どのようにデータを集め、誰がどうやって分析するのか。それを現場にどうやって連携するのか具体的に伺う</p> <p>14 イノシシ対策について</p> <p>(1) ジビエの検討について、本市として個体調査による実際の線量など実態把握をどれくらい行っているのか。また、農業以外の事業者への支援も必要ではないか、伺う</p> <p>15 世界農業遺産について</p> <p>(1) アクションプラン最終年度。来年度予算が減額されているが、少し後退している印象だ。次期アクションプランの策定は、デジタルコンテンツとの相性と活用は考えているのか、伺う</p> <p>16 道路、ダムについて</p> <p>(1) 石巻酒田間高規格道路建設の進捗を伺う</p> <p>(2) 鳴瀬川ダム建設の進捗を伺う</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症に伴う経済支援策とワクチン接種について</p> <p>(1) さらなる経済支援策への考えは</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症対策として、緊急支援の観点から既に様々な経済支援が行われており、令和2年12月定例会では、中小企業・小規模事業者緊急支援事業も可決成立したが、今後の状況を踏まえたさらなる経済支援策の見通しについて所見を伺う</p> <p>(2) 医療事業者並びに市民へのワクチン接種の対応は</p> <p>ア 先行して実施される大崎市民病院の医療従事者や、その後の市民へのワクチン接種にかかる体制構築状況について所見を伺う</p> <p>2 新産業の企業誘致と移住起業家支援策について</p> <p>(1) 新産業の企業誘致への考えは</p> <p>ア 本市におけるこれまでの企業誘致は、特に製造業等の工場誘致に主眼が置かれてきた。今後は、IT産業等の新しい産業に対する企業誘致も積極的に推進すべきと考えるが、所見を伺う</p>	75分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>(2) 移住起業家支援型の地域おこし協力隊導入への考えは</p> <p>ア 本市に移住定住することを前提とした起業家育成支援の観点から、地域おこし協力隊制度を活用し人財の導入支援を行い、移住起業家への創業支援も推進していくべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 新たな姉妹都市交流について</p> <p>(1) 富山県黒部市との姉妹都市締結の考えは</p> <p>ア 令和元年東日本台風（台風 19 号）の際に、富山県黒部市から応援職員を派遣いただく等の支援を頂戴し、令和 2 年 10 月には「災害時等における相互応援に関する協定」を結んだが、今後姉妹都市締結を行う考えはないか、所見を伺う</p> <p>4 人財育成基本方針について</p> <p>(1) 職員人財育成における「官僚制の逆機能」への対策は</p> <p>ア 令和 2 年 9 月策定の大崎市人財育成基本方針では、目指す職員の資質としてコミュニケーション能力、コンプライアンス意識、向上心、自ら考える姿勢等の人間力を重視するとある。この基本方針を踏まえ、目指す職員の姿を実現するにあたり、いわゆる「官僚制の逆機能」に陥らないための対策や考えは</p> <p>5 教育行政と学校跡地活用策について</p> <p>(1) 不登校の現状を踏まえたさらなる取組は</p> <p>ア 不登校の児童生徒の増加に伴い、市内でも団体による支援や取組が展開されている。このような団体と連携、協力した対策が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 小学校における 35 人学級編成への考えは</p> <p>ア 文部科学省は、教室の 3 密対策やきめ細やかな教育のために、1 学級の上限人数を 35 人とする学級編成方針を示しているが、本市の見通しについて所見を伺う</p> <p>(3) 小学校 5、6 年生の教科担任制への考えは</p> <p>ア 文部科学省は、令和 4 年度を目途に、小学校 5、6 年生の教科担任制を導入することとしているが、対応について所見を伺う</p> <p>(4) 部活動の地域移行への考えは</p> <p>ア 文部科学省は、令和 5 年度以降、休日の部活動を段階的に地域主体に移行させる方針を示しているが、対応について所見を伺う</p> <p>(5) 古川北小学校開校に伴う閉校小学校の跡地活用策への考えは</p> <p>ア 本年 4 月の古川北小学校開校に伴い、閉校する宮沢、富永、清滝小学校跡地の利活用に対する所見を伺う</p> <p>6 図書館機能の充実について</p> <p>(1) 大崎市図書館における蔵書充実への考えは</p> <p>ア 魅力ある図書館づくりのためには、さらなる蔵書充実や特色ある選書が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>7 北朝鮮による日本人拉致問題について</p> <p>(1) 拉致問題のさらなる周知活動に対する考えは</p> <p>ア 北朝鮮による日本人拉致問題を風化させないために、今後も世論喚起に務めるべきと考えるが、所見を伺う</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	27	日本共産党大崎市 議会議員団 小沢和悦	<p>1 新型コロナ感染症対策について</p> <p>(1) 介護施設でのクラスター防止対策として、施設職員へのPCR検査を、差し当たり2月から3月で2回実施すべきではないか</p> <p>(2) ものづくり企業雇用・事業継続支援事業の「支援対象」から農事組合法人をなぜ除外したのか</p> <p>(3) 新型コロナ対策「中小企業・小規模事業者緊急支援事業」の支援要件を実態に合わせ、緩和、改善することについて</p> <p>(4) 県の保健所統合計画は、新型コロナ等感染拡大防止体制強化に逆行するので反対し、拡充こそ申し入れるべきではないのか</p> <p>2 税務資料を活用するなどの生活困窮者自立支援事業の推進について</p> <p>(1) 宮城県地方税滞納整理機構による給与振り込み直後の口座差し押さえ事件訴訟の和解を教訓に、全国の典型とされている野州市に学び、税務資料も活用した生活困窮者自立支援事業を推進することについて</p> <p>3 女川原発再稼働問題への市長の姿勢について</p> <p>(1) 女川原発再稼働問題は「避難計画」の実効性と一体不可分で考えるべきではないのか</p> <p>(2) 女川原発で、東京電力福島第一原発並みの事故が発生したら、大崎市民は奥羽山脈を越えた避難先が必要と思うがどうか</p> <p>(3) そういう場合、石巻市民3万9,000人の避難受入れはできないことを石巻市に伝えておくべきではないか</p> <p>4 大崎市が補助参加人となった訴訟の判決への対応について</p> <p>(1) 判決文では、大崎市がRIBCだけを残した設計業務の全てを契約解除したことについて、「内訳書データ作成業務に係る部分についてのみ（契約解除は）有効であり、その余の部分については無効」とされている。市は、10年以上も未払いとなっている残金と、この間の利子相当額を支払うべきではないのか</p> <p>5 18歳までの医療費無料化と所得制限撤廃について</p> <p>(1) 「18歳まで無料」「所得制限なし」は周辺市町村の常識になっている。足並みをそろえないと大崎市は子育て世代が住みにくい「遅れているまち」のイメージが定着する危険がある。よって、大崎市の浮沈にも影響する市政の重要課題として位置づけを決断すべきではないか</p> <p>6 宮城県の水道事業広域連携検討会と大崎市のスタンスについて</p> <p>(1) 大崎圏域1市4町、栗原市、富谷市、大衡村、大和町、大郷町、松島町の計3市8町村と宮城県による「垂直連携」「経営統合」案が示されている。経営統合した場合、「受水単価が増加することが想定される</p>	60分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
4	20	新生会 只野直悦	<p>ため」云々とされている。令和3年度から4年度にかけて「広域的連携等推進協議会設立検討」とされているようだが、住民に全く知らされないままに、合併統合を進めるべきではないと思うがどうか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種体制整備 <ol style="list-style-type: none"> ア ワクチン接種の期待と市民への分かりやすい啓発は イ 迅速かつ円滑な実施への体制整備について (2) 新年度の感染症対策及び経済対策 <ol style="list-style-type: none"> ア 国の第3次補正予算の活用と新年度対策の考えと課題は 2 命を守る防災対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) ハザードマップ配布後の各地域における活用 <ol style="list-style-type: none"> ア 令和2年度の各地域自主防災組織の取組状況と今後の課題をどう捉えているのか (2) 隣接自治体と連携した防災対策 <ol style="list-style-type: none"> ア 隣接自治体との情報の共有と対応策について イ 緊急時における一時避難の協定（要請）について 3 水田農業の振興について <ol style="list-style-type: none"> (1) 米の需給調整対策 <ol style="list-style-type: none"> ア 県の「生産の目安」は国が示した生産量と大きな差があるが、どう捉えているのか イ 国や県の需給調整対策の方針決定と本市の対応策は ウ 輸出米の方針について、JAへの働きかけと課題 エ 新年度「ささ結」国内外に向けた発信をどう進めるのか 4 世界農業遺産の保全と活用について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新年度ウイズコロナ、アフターコロナにおける各事業展開 <ol style="list-style-type: none"> ア 世界農業遺産アクションプラン最終年において目指すものは (2) 大崎地域世界農業遺産推進協議会との一体の取組 <ol style="list-style-type: none"> ア 第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会の成功に向けた考えと取組状況は 5 教育環境の整備について <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度の教育環境の振り返りと課題 <ol style="list-style-type: none"> ア コロナ禍における学校生活から得た子供たちの成長について イ 令和3年度の学校生活において推進したい活動と課題は (2) 学校2学期制の振り返りと課題 <ol style="list-style-type: none"> ア 令和2年度から大崎市の小中学校は、3学期制から2学期制になったが、その振り返りと令和3年度への課題はあるのか (3) 35人学級の意義と課題 <ol style="list-style-type: none"> ア 国では令和3年度から5年計画で小学校の35人学級 	60分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
5	28	大清会 佐藤 勝	<p>を実現とのことだが、その意義と今後の課題について伺う</p> <p>6 健康長寿対策について</p> <p>(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業</p> <p>ア 宮城県後期高齢者医療広域連合との連携について</p> <p>イ 令和3年度における新たな事業展開と課題について</p> <p>1 大崎市の農業展望とSDGs達成の道筋について</p> <p>(1) コミュニティー支援型農業を支える政策の進化論</p> <p>ア 現在の動植物は下等の原始生物から進化したと進化したと体系づけたダーウインの説から学ぶとすれば</p> <p>イ 「豊饒の大地」の農業施策を深化すべき</p> <p>ウ 集落のコミュニティーを支える家族農業を都市との交流（台東区と仙台市）で仕掛けを</p> <p>(2) SDGs志向とオーガニック農業の推進について</p> <p>ア 大崎市総合計画後期計画の見直し年にあたり、子供の頃から農村に親しむシステムを体系づける運動を</p> <p>イ 農薬や化学肥料に頼らず、太陽、水、土地、そこに生物と自然の恵みを生かした農政の展開を</p> <p>ウ ライフスタイルが変わり「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成が世界の主流で共通目標となり、その主たる取組を進めることについて伺う</p> <p>(3) 開発目標の取組は、大崎市ならではの人材の確保と専門職員の育成をまず産業経済部農林振興課から始めては</p> <p>ア 専門知識を持つ国や県との人事交流や採用等、人材の確保を来年度から始めては</p> <p>イ 農林振興課内にまず、園芸担当の設置と農に興味のある職員の配置を</p>	45分
6	21	大志会 富田文志	<p>1 新年度予算編成の基本姿勢について</p> <p>(1) 予算編成の重点施策について</p> <p>ア 今年のえとにちなんでの、粘り強さと誠実さは新年度予算のどの部分に反映されているのか、特に配慮した施策について伺う</p> <p>イ 合併後15年を経過しようとしているが、一体性の醸成と個性あふれる地域形成をどのように融合させて予算に反映させていくのか、方向性を伺う</p> <p>(2) 新庁舎建設後の財政運営について</p> <p>ア 震災後10年になるが、その間積み増しされてきた財政調整基金も新庁舎と周辺を中心市街地再開発等の大型プロジェクトを進めることで残高が大きく減ってきている。健全な財政運営と有事に備えるためには、今後積み増ししていく必要があると思うが方策は検討されているのか、伺う</p> <p>(3) 新型コロナウイルス対策が財政運営に与える影響について</p>	45分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	22	公明党 山田和明	<p>ア 予定どおりワクチン接種が進められれば終息に向けてスピードアップするが、冷え切った地域経済が回復するためには、時間とお金が必要になると思われる。今後の新たな支援策の必要性と対応について伺う</p> <p>イ 地方自治体独自の支援策に要した経費について、全国市長会等で全額を国費負担とすることの要望について考えを伺う</p> <p>2 防雪対策について</p> <p>(1) 冬季の災害に備えるための強化対策について</p> <p>ア 地吹雪対策としての防雪柵の計画的な設置の必要性と推進計画について伺う</p> <p>イ 路面凍結対策としての効果的な融雪剤散布について、融雪剤設置場所のきめ細かい確保と散布について地域の協力体制の考えについて伺う</p> <p>ウ 高齢者世帯等の除雪について、協力隊などマンパワーの有効活用策検討の方向性を伺う</p> <p>3 入札について</p> <p>(1) 入札不調の実態と対応策について</p> <p>ア 発注側と受注側で実態に即さないずれがあると思われるが、入札不調の事由をどのように捉えているのか、伺う</p> <p>イ 入札者ゼロ（中止）の入札経過をどのように分析し、どのように改善しようとしているのか、伺う</p> <p>4 三本木パークゴルフ場改良について</p> <p>(1) 課題解決への取組状況について</p> <p>ア 排水状況が悪く、透水性に問題があると思われる。透水係数等当初の検討過程に問題がなかったか、また、どのような改善策を検討しているのか、伺う</p> <p>イ 芝生が十分に根づくための土壌になっていないために表土部分の改良が必要であると思われるが、他地域の性質の違う土砂と混合するなど具体的な対策への考えを伺う</p> <p>ウ これまでの議論の中では、仕様書どおりの施工が完了し完成検査を経て引渡しされたとあるが、仕様書どおり工事が行われているならば、施工業者に瑕疵はないと思われる。建設部で仕様書を作成し施工管理も行ったのであれば責任はそこにあり、しっかりとした完成品を指定管理者に引き渡すために、改良のための経費負担を市の負担として行うことへの考えを伺う</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑にするために</p> <p>(1) 円滑な接種に向け、市民の理解と協力が得られるよう、市長として市民に呼びかけと要請をすることについて</p> <p>(2) 集団接種会場の人員確保など体制整備と安全性について</p>	30分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>2 大崎市の防災、減災、国土強靱化の取組推進について</p> <p>(1) 水害対策の強化に向けた「流域治水」対策を進め、江合川、鳴瀬川、吉田川の大規模な洪水にも対応できる河川整備をすることについて</p> <p>(2) 老朽化した市道及び橋梁、下水道などの補修、ため池の防災工事の取組推進について</p> <p>3 きめ細やかな教育を実現するために</p> <p>(1) 教育委員会では 35 人学級についてどう進め運用を図っていくのか</p> <p>(2) 不登校児童生徒が安心して毎日来られる場所（フリースペース）をつくることについて</p> <p>(3) 新型コロナウイルス対策として、小中学校へ非接触型の自動水栓の導入について</p> <p>4 新型コロナの拡大で社会的孤立を防ぐための対応について</p> <p>(1) コロナ禍で、生活困窮やDV及び児童虐待が増え、社会的孤立状況がより一層深刻化していることから、全庁的横断的な対応について</p> <p>(2) 生活困窮者支援として、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金と合わせ地方創生臨時交付金で、全額国費として対応することについて</p>	